

平成23年12月第14回教育委員会定例会

【日 時】平成23年12月22日(木)午後1時30分～午後4時10分

【場 所】北栄町農村環境改善センター 会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長、西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、齋尾委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・12月9日北栄町教育懇話会役員会について
(意見)懇話会でサマースクールのような学習支援が出来ないかとの提案があった。懇話会忘年会の話し合いもあった。12名参加。
(質問)サマースクールの音頭取りはどう考えているのか。
(回答)町教委で行う。
(質問)懇話会でのイメージはどのようなものか。
(回答)学力向上のためのサマースクールと同じようなもの。無料で面倒を見てもらうと勘違いする。齋尾副会長は地元で同じような取り組みを行っているが、塾のような学力向上での取り組みは難しいと言っておられた。
(意見)難しいと考える。今現在の教育委員会のサマースクールの定着までが問題となる。
- ・12月12日北栄町議会定例会について
 - ・テニスコートの管理
 - ・いじめ不登校の問題
- ・12月20日同和対策事業の見直しに伴う町長の申し入れについて
(質問)議会の陳情か。議会有志の要望か。
(回答)議会有志の要望である。隣保館の地区への譲渡、地区学習を学校の近くで実施することなどが盛り込まれている。

教育総務課長

- ・台中市イングリッシュエンジェルス訪問団との交流について
(説明)補正予算について、議長の旅費部分を削除し可決。交流の相手方が合併し組織が変わった。今後の方向性が分からないのにも意味がないと削除した。

- ・教育民生常任委員会委員と園長・校長との意見交換会の開催について
- ・工事等の発注について
- (質問) 教育用ネットワークの更新はどのような内容のものか。
- (回答) 教育用パソコンの更新。児童生徒用パソコン。
- (質問) 利用頻度は、うまく使っているのか。
- (回答) 多く使っている。システムは必要なソフトを引き出して使うものとなっている。
- (質問) 電子黒板とは違うのか。
- (回答) パソコンとシステムの更新で電子黒板も使用できる。議会からは導入単価が高いと指摘されている。
- (意見) 十分活用するように伝えていきましょう。
- ・保護者との訴訟の経過報告について

生涯学習課長

- ・北栄てくてくウォーキングについて
- ・湖南省文化団体との意見交換会について
- ・湖南省ウォーキング団体との交流について
- ・第63回人権週間に係る町内事業所訪問について
- ・第4回北栄町部落解放文化祭について
- ・第2回北栄町バトミントン大会について
- ・1月の行事予定について
- ・工事等の発注について
- (質問) 湖南省の視察は一緒に行ったのか。
- (回答) 別々で行った。
- (意見) 交流は満遍なく行くのがいい。
- (質問) 耐震診断は今後の方向性も出されてくるのか。
- (回答) 確認する。
- (意見) 今後どうしたらいいかあった方がいい。診断すると悪いところがある。対策がないと意味がないものとなる。業者はしたくないもの。増工しても設計業者に方向性を示さした方がいい。
- (質問) 成人式は10時からでいいのか。
- (回答) 10時から開会、11時写真。青山剛昌ふるさと館イベントとは別イベント。会場も別。
- (質問) 成人式は企画することはあるのか。
- (回答) 募集したが5・6人の応募。企画案がなかなか出てこない。記念品はふくさとした。

3 協議事項

- ・平成24年度全国学力・学習状況調査について
 - (確認) 本町は抽出校50%。結果の取り扱いについても協議したい。
 - (意見) 結果についてはいかに活用するかが必要となる。
 - (意見) そういう考え方をどういう場で説明していくかが課題。
 - (意見) 議会等に対してもこの要領を示してはどうか。説明をしていく。
 - (意見) 議会にそのような答弁しても、前回は議会が開示しろということで開示した経過がある。
 - (意見) 公開はいいが、趣旨を明確にすることが必要。
 - (意見) 前回の開示では懸念される方向に働いてしまった。
 - (意見) 説明する上でも文書を提示すべきである。
 - (確認) 公開を含めて調査をやる、やらないを決める必要がある。
 - (質問) 参加するとした場合手続きはどうか。
 - (回答) 予算書に計上される。
 - (質問) 保護者には学校、住民にはだれが示すのか。
 - (回答) 予算書を議会に提案、報告することとなる。予算編成で説明する。
 - (意見) 予算説明時に文部科学省委領を示してはどうか。
 - (回答) 可能である。
 - (意見) NRT検査もやってきている。データもある。それを活用すれば必要ないと思う。
 - (意見) なくてもいいのではないか。予算がつけば肯定的な意見で実施すればいい。受けることとして説明すべき。
 - (採決) 実施する 3人 しない 2人
 - (結論) 平成22年度どおり処理、公表する。ただし、趣旨を徹底する。
- ・少人数学級の考え方について
 - (質問) 全額500万円、半額200万円となっているがどういうことか。
 - (回答) 区切りの問題。250万円では区切りが悪いため200万円としている。従来のものより明らかに負担が減る。
- ・学校支援ボランティアについて
 - (意見) 県の計画では学校にべったりと入り込むよう。今現在でも地域など外部からの協力を経て学校は取組んでいる。現状のつかず、離れずでいい関係が保たれている。
 - (意見) ボランティアの集計は必要であるので集計報告をもらい把握すること。

4 報告事項

- ・平成23年12月北栄町議会定例会の一般質問等について
 - (意見) 1・2名のファックスを大衆の意見とするのはどうか。
 - (意見) 3番が大きな問題点となる。

(意見) 結論になるに至った経過が明確となっていない。

(意見) 根幹にかかわる人権同和問題ではないか。

・ 議会教育民生常任委員会と教育委員会・校長・園長との意見交換会について

(議会)・Q - Uの活用方法は。認定子ども園の取り組みは。各校区小・中学校9年間メンバーが変わらないことの弊害はないか。小連携・中連携はないのか。武道についての考え方は等の質問があった。

(質問) 新しいメンバーとなったから実施するのか。

(回答) 従来もあったが、委員の交代があったため行ったもの。

(質問) 主催は。

(回答) 教育委員会が行った。

(意見) 数年前は委員会とも行った。パフォーマンス的であった。

5 その他

・ 次回教育委員会 定例会 1月31日(火)午後1時30分予定